

■行動計画項目3-1 市民参加・環境教育とともに
③湿原のために行動する ～保全や再生に関わる人・機会を増やす～

- ◆地域の人々が湿原を見守る 以下の現地見学会等を開催しました。
- 現地見学会等の開催

開催日	行事名	参加者	主催
7月22日	「幌呂地区湿原再生」現地見学会	17名	湿原再生小委員会事務局
8月3日	久著呂川自然再生見学ツアー	13名	土砂流入小委員会事務局
9月2日	「釧路湿原旧川復元」現地見学会	19名	河川環境再生小委員会事務局
9月23日	企業との協働による広葉樹の森林づくり	28名	森林再生小委員会事務局
9月27日	第2回「雷別ドングリ倶楽部」	15名	森林再生小委員会事務局
10月14日	市民講座「湿原と地域を学び、湿原を体感して、湿原のしくみを知る！」	15名	再生普及行動計画オフィス
11月3日	「水・物質循環」現地見学会	17名	水循環小委員会事務局



幌呂地区現地見学会



久著呂川自然再生見学ツアー



釧路湿原旧川復元現地見学会



企業との協働による
広葉樹の森林づくり



水・物質循環現地見学会



第2回「雷別ドングリ倶楽部」
による植樹

～参加者の感想～

- ・説明と共に実物を見たので旧川復元が一步步着実に実現されていると実感しました。(茅沼地区旧川復元現地見学会)
- ・湿原を守るため色々な仕組み、取組みがわかりました。(久著呂川自然再生見学ツアー)
- ・釧路湿原の水の動きがよくわかり、湿原を守っていくことがいかに重要なことなのか理解できました。(水・物質循環見学会)

再生普及小委員会の詳しい議事の内容および
会議資料はホームページでご覧いただけます。



釧路湿原をなしみ、学び、保全や再生に参加するためのガイド
みんなで進める！釧路湿原の自然再生



第39回 再生普及小委員会 出席者名簿（敬称略、五十音順）

個人 16名

- 川西 亮太 [北海道教育大学 釧路校 准教授]
- 神田 房行 [北方環境研究所 所長(元北海道教育大学副学長)]
- 君塚 孝一 [(有)自然文化創舎]
- 坂井 一浩 [八千代エンジニアリング株式会社 北海道営業所]
- 櫻井 一隆
- 貞國 利夫 [釧路市立博物館]
- 新庄 興
- 新庄 久志 [釧路国際ウェットランドセンター技術委員長]
- 鈴木 信 [一般財団法人 釧路市住宅公社]
- 高嶋 八千代
- 高橋 忠一
- 照井 滋晴 [特定非営利活動法人 環境把握推進ネットワーク-PEG]
- 中村 研二 [釧路公立大学地域経済研究センター 教授 センター長]
- 平岩 誠 [カヌーショップひらいわ]
- 平間 清 [(有)平間ファーム]
- 山本 太郎 [一般財団法人 北海道河川財団]

団体 9団体

- 釧路川カヌーネットワーク[小川 清史]
- 釧路国際ウェットランドセンター[事務局次長/元岡 直子]
- 釧路湿原国立公園連絡協議会[事務局次長/元岡 直子]
- 釧路湿原国立公園ボランティアレンジャーの会[代表幹事/芳賀 孝朋]
- 国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所 水環境保全チーム [上席研究員/柿沼 孝治]
- こどもエコクラブくしろ [近藤 一燈美]
- 特定非営利活動法人 くしろ・わっと [職員/上野 岳]
- 特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所 [小林 恒平]
- 特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ [理事長/百瀬 邦和]

関係行政機関 8機関

- 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 [釧路河川事務所 所長/菅野 法之]
- 環境省 釧路自然環境事務所 [国立公園企画官/柳川 智巳]
- 北海道教育庁 釧路教育局 [社会教育指導班 主査/角田 淳]
- 林野庁 北海道森林管理局 [釧路湿原森林ふれあい推進センター 所長/南 達彦]
- 北海道 釧路総合振興局 [商工労働観光課 課長/北館 則隆]
- 釧路市 [市民環境部 環境保全課 課長補佐/元岡 直子]
- 釧路町 [産業経済課 商工観光係/森末 恵悟]
- 標茶町 [企画財政課 企画調整係 係長/河村 晃]

オブザーバー 2機関

- 標茶町商工会 [事務局/松本 修]
- 弟子屈町商工会 [事務局/豊島 洋樹]

※地域づくり小委員会委員も含まれます。

資料の公開方法

各委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページで公開しています。
<http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html>

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています。
電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

釧路湿原自然再生協議会運営事務局
TEL0154-23-1353 FAX0154-24-6839

※再生普及小委員会担当事務局:環境省釧路自然環境事務所
TEL0154-32-7500 FAX 0154-32-7575



釧路湿原
自然再生
協議会

再生普及小委員会
ニュースレター

REGENERATION
SPREAD
SUB COMMITTEE
NEWS LETTER

Vol. 39

発行日:令和6年1月11日

編集・発行:釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

令和5年12月1日(金)「第39回 再生普及小委員会」が開催されました。今回は地域づくり小委員会との合同開催となりました。

■開催概要

小委員会には個人16名、団体9団体、オブザーバー2機関、関係行政機関8機関が出席しました。会場とオンライン(Zoom)とを併用して開催され、地域づくり小委員会での議事後、再生普及小委員会の活動報告及び報告に関する議論が行われました。

再生普及小委員会は、自然再生事業全体をとおして市民参加や環境教育を進めていく取組みの立案や推進方策を協議する場として設置されており、「再生普及行動計画」に基づき、再生普及行動計画オフィス(環境省釧路自然環境事務所)が主体となって取組みを進めています。
【構成員】79名(個人37名、27団体、オブザーバー5団体、関係行政機関10機関)



第39回 再生普及小委員会開催状況

■再生普及小委員会の活動報告

前回の小委員会(令和4年9月)以降の取組みの報告が行われました。

第4期釧路湿原自然再生普及行動計画の取組状況について

1 コロナ禍で得られた知見について

現地見学会などのイベントを開催するにあたり配慮した事項をまとめました。これらの配慮を今後の取組みに活かしていきます。

配慮した事項

- ・ソーシャルディスタンスを保てる人数規模で企画
- ・釧路管内在住者に対象を限定
- ・現地集合、現地解散とし、短時間による実施
- ・会話をせずに楽しめるプログラムを企画
- ・オンラインでの実施、映像資料の活用

今後の取組に活かしたい知見

- ・様々な工夫や配慮により、行事や会議の質が向上
- ・適切な人数規模で行うことで、参加者の理解が深化
- ・オンラインを活用した行事や会議の有効性
- ・アーカイブ配信、映像資料の活用等、情報共有方法の多様化

2 第4期計画期間における重点取組・新規取組

環境教育や市民参加により、一層の普及拡大に向けた計画である「第4期釧路湿原自然再生普及行動計画(2020年9月)」の取組状況や新たな取組について報告が行われました。行動計画項目ごとの取組について、「オフィス(※)の取組」と「各小委員会の取組」の報告が行われました。

※オフィス:再生普及行動計画オフィス(環境省釧路自然環境事務所)

オフィスの取組

■行動計画項目3-1 市民参加・環境教育とともに

①湿原を身近に感じる ～人々が湿原とつながる～

◆湿原にふれる機会をひろげる

ワンダグリンド・プロジェクト参加者の活動状況や、釧路湿原で行われる行事情報を「みんなで進める!釧路湿原の自然再生」へ掲載するなど、ホームページの内容を充実させたほか、メールニュースの配信やチラシを施設等に送り、掲出を依頼しました。

「みんなで進める!釧路湿原の自然再生」ホームページはこちら



みんなで進める!釧路湿原の自然再生 HP



ワンダグリンド ☆コースチラシ

◆さまざまな分野の取組もつながる

ワンダグリンド・プロジェクトの推進と、参加団体による活動状況等の紹介をホームページに掲載しました。また、参加団体と連携した以下の取組みを実施しました。

《取組内容》

- 辻野 正 さん:湿原クラフト体験教室・展示、ジオラマ展示
- タクツバさん:展示「アイヌ民族と植物」
- 長谷 泰昌さん:フィールド学習の企画実施
- 釧路市動物園「タンチョウレスキューの現場から」:
パネル展示、フィールド学習支援



参加団体紹介ページ



「まなとびあ2023」での連携した啓発

◆より多くの人に湿原の情報を届ける

以下のイベントへ出展しました。

- 釧路市生涯学習フェスティバル「まなとびあ2023」
期間:11月11日(土)、12日(日)
場所:まなぼっと幣舞
内容:パネル展示、ワンダグリンド参加団体活動紹介、湿原クラフト体験教室
- くしろエコ・フェア2023
期間:11月19日(日) 10:00~16:00
場所:釧路市中央図書館 7階多目的ホール・展示室
内容:「釧路湿原再生事業地見学会」ポスター展、湿原クラフト「湿原のなかまたち」展



「まなとびあ2023」への出展



「くしろエコ・フェア2023」への出展

◆より多くの人に湿原の情報を届ける 以下の活動を行いました。

●図書館との連携

令和4年度中に釧路湿原自然再生協議会が発行した資料を、釧路市中央図書館、標茶町図書館、釧路短期大学付属図書館に収蔵しました。



釧路市中央図書館での資料収蔵

以下の活動を行いました。

●湿原学習に取り組む児童からの発信(予定)

湿原学習に取り組む児童が作成した「研究発表ボード」の展示や、釧路市こども遊学館と連携した発表会を通して、施設来館者への学校の湿原学習の取組み、児童がとりまとめた湿原に係る多様な情報を発信する予定です。



児童が作成した研究発表ボードの展示 予定 (令和4年度 実施例)



児童による研究発表 予定 (令和4年度 実施例)

◆教員・指導者が学ぶ機会をひろげる 以下の活動を行いました。

●教員研修講座の実施

- ・環境教育の充実
～キタサンショウウオ等希少種保護と脱炭素に向けた開発との共存
実施日:7月27日(木)
参加者:32名(釧路管内の幼稚園から高校までの教職員)
場 所:環境省 釧路湿原野生生物保護センター、太陽光発電施設(釧路市鶴野)、釧路町トリトシ原野太陽光発電所
講 師:野本 和宏氏(釧路市立博物館 学芸員)
共 催:釧路教育研究センター(事務局:釧路市教育委員会)



教員研修講座の実施

教員研修講座

教員、指導者が釧路湿原の保全について学ぶ機会をひろげるために実施しています。近年は再生可能エネルギーの普及が、学校の教科書などでも取り上げられています。再生可能エネルギーの設備建設等の開発と希少野生生物の保護、自然再生との共存について実際の現場を回って考える講座を開催しました。

●フィールドワークショップの実施

- ・丘から湿原へ～湧水の小さな旅～
実施日:10月28日(土)
参加者:14名
(ワンダグリンド・プロジェクト2023参加者・再生普及小委員会委員)
場 所:達古武湿原
案内人:新庄 久志氏(釧路国際ウェットランドセンター技術委員長)



フィールドワークショップの実施

フィールドワークショップ

自然再生事業を行っている事業地が目指し、目標としている湿原の周辺環境を見学しました。歩いて移動すると森林→ヤチボウズ→ハンノキ→ホザキシモツケなどと、変化する植物の種類を確認できます。ハンノキが立ち枯れてミズゴケ湿原へと移行していく様子などを、実際に湿原に入って体験できました。

◆学びに関わる人をつなぐ 以下の活動を行いました。

●第17回湿原学習のための学校支援ワーキング・グループ

- 日 時: 7月28日(金) 14:00～16:00
場 所: 釧路地方合同庁舎4階 第3会議室
参加者: 16名(専門家2名、学校教員8名、教育委員会3名、協力団体・施設3名)
議 事: ①ワーキンググループの取組み報告
②今後の取組みについて

湿原学習のための学校支援ワーキング・グループとは

学校での湿原学習や流域の環境を使った学習の支援内容の検討を行っています。

- ◆学びに関わる人をつなぐ
- ◆湿原の多面的な価値の学びに向けて
- 協力施設、団体、学校と連携した湿原学習の推進

地域の様々な主体と連携した湿原学習の支援体制づくりを進めるため、右に記載の団体に対して以下の協力依頼を行いました。

- ・フィールド学習実施時のレクチャー、学習のとりまとめ時および発表会での助言
- ・発表の場の提供等

今後、児童への助言や発表の場づくりを共同して実施する予定です。

協力施設、団体、学校等(順不同)

- ・国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 治水課
- ・林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター
- ・釧路市動物園
- ・釧路市立博物館
- ・釧路湿原国立公園連絡協議会
- ・(公財)日本鳥類保護連盟釧路支部
- ・釧路市こども遊学館
- ・北海道教育大学釧路校 境教授
- ・標茶町図書館
- ・釧路市教育委員会マリモ研究室



標茶小学校5年生への解説(達古武)



発表会での助言(令和4年度実施例)

◆新たな活動・参加機会づくりをみちびく 以下の講座を実施しました。

●市民講座の実施

- ・湿原と地域を学び、湿原を体験して、湿原の仕組みを知る!
釧路湿原の『すごい!』を体験しよう
日 時:10月14日(土) 9:30～15:00
参加者:15名
講 師:新庄 久志氏(釧路国際ウェットランドセンター技術委員長)



市民講座の実施



市民講座の実施

～参加者の感想～

ヨシ・スゲの絨毯のふわふわ感。湧き水の綺麗なこと。そして流量の多いことに驚きました。

●第17回再生普及推進のための連携チーム 以下の内容で開催しました。

- 日 時:8月29日(火) 10:00～12:00
場 所:釧路地方合同庁舎4階 第3会議室
参加者:12名
議 事:①小委員会事務局が実施する市民参加の取組みについて
②コロナ禍における取組みの評価
③再生普及行動計画の進捗評価について

再生普及推進のための連携チームとは

再生普及小委員会の役割は、全ての小委員会に関わっていることから、再生普及推進のための連携チームを作り、普及推進について集中した検討を行っています。

■行動計画項目3-1 市民参加・環境教育とともに
②湿原と地域に学ぶ ～学校や地域での学びの幅を広げる～

- ◆湿原の多面的な価値の学びにむけて 以下の知見を公開しました。
- 明らかとなった知見の公開(水循環小委員会)

釧路湿原の水循環(技術資料)をとりまとめて公開しました。現地見学会においては、得られた知見を体感できるフィールドに赴き、参加者に理解を促しています。

「釧路湿原の水循環 -現地観測とシミュレーションによる釧路湿原の水と物質の移動形態の解明-」
はこちらから



水循環小委員会とは

水循環小委員会は、釧路湿原自然再生協議会の7つある小委員会の一つです。河川水・地下水などの水循環の保全・修復を図るとともに、流域における健全な水循環・物質循環の維持を図ることを目的に検討を行っています。

このような議論が行われました。(内容を要約または省略している部分があります。詳しくはホームページをご覧ください)

- 各小委員会などでは非常に素晴らしい活動を実施されており、是非継続して実施していただきたい。アンケートの内訳では参加者は年齢層が高いようだが、対象者を10代、20代にする、親子で体験できるものにするなどしてはどうか。また、一般市民が参加する市民講座の開催回数を1回から2回にしてはどうか。
- 今後はSNSなども活用して、若い世代の参加を増やす試みを検討したい。
- 市民講座の案内はワンダグリンドニュースに掲載しているが、更に広く皆さんに知っていただく努力をしていきたい。
- カヌーやホーストレッキングをガイドする方が、再生普及小委員会のツールやノウハウを利用したり、実際にイベントに参加することで、釧路湿原のことを一層学ぶ機会、きっかけになると思う。最終的には釧路湿原にきた人が自分の住むところに帰った後に、湿原を気にかけてくれたり、応援してくれたりするようになるとうい。
- 地域づくり小委員会で現在行われているツーリズムのプログラムに、自然再生事業において皆さんに伝えたいことを組み込んでどうか。ツーリズムに参加した方々が口コミで色々な人たちに伝えてくれるだろう。

●委員長 ○委員 ■事務局